

前回の協議会からの変更点

○ご意見と修正内容

頁数	バリアフリー推進協議会 (10/7) 以降における主な意見	主な修正内容
6 頁 14 頁 18 頁 20 頁 34 頁 59 頁 60 頁	すでに行っているユニバーサルデザインを取り組みをどのような形でよいので、計画書に掲載すべきである。	以下のコラムを追加 6 頁 スマイルマーケット 14 頁 赤ちゃんの駅 18 頁 ユニバーサルスポーツ (ボッチャ) 20 頁 板橋型 BF ブロック 34 頁 UDCTak 59 頁 小豆沢体育館プール棟の増築 60 頁 デザインで解決する
13 頁	バリアフリーの 1 ルート化だけでなく、2 ルート目についても言及すべきである。	2 ルート目の記述を追加
19 頁 68 頁	価値向上要件について、上から重要度が高く見えてしまう。価格妥当性が一番上なのは誤解を招くのではないか。	優先順位があるわけではないが、誤解のないように記載順序を変更
22 頁	赤ちゃんの駅や南館改築事例と「子どもがくらしやすい」こととの説明がわかりにくい。	直観的にわかり、感性に訴えるとともに使いやすく快適であることから「子どもがくらしやすい」という文章に修正
30 頁	産業の取り組みを加えるべきではないか。	施策 4 - 3 の名称を改め、内容を追加
36 ~ 61 頁	重点事業などの説明を詳細に行うべき。 対象者のアイコンを掲載すると、その属性の人だけを対象にしているように見える。誤解を招くのではないか。	事業抽出の考え方、「重点事業」と「その他事業」の説明を追加 対象者アイコン及び一覧の削除
	「施策が効果をもたらした後の板橋区の姿」と将来像が重複している。位置づけが曖昧であり、混乱を招くのではないか。	当該項目を削除
38 ~ 41 頁	重点的に行う事業も定例的に行う事業も記載しており、強弱がはつき	バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを整理し、具体例を挙げたうえで事業を掲載

頁数	バリアフリー推進協議会 (10/7)以降における主な意見	主な修正内容
	りしない。ユニバーサルデザインといえるものは明確にすべき。	施策ごとの重点事業のみを整理し、その他事業については指針ごとに取りまとめ、強弱をつけた。
37 頁	複数の事業の組み合わせで優良な事業となるものもある。	計画の体系に組み合わせ同概念を追加
38～ 59 頁	ユニバーサルデザインに関する事業が追加できるのではないか。	No.35「妊婦・出産ナビゲーション事業」 No.40「『板橋区授業スタンダード』に基づいた『分かる できる 楽しい』授業の推進」 No.41「見守りネットワーク」 No.42「板橋区版 AIP の構築」 No.45「スマイルマーケットの運営」 No.60「少年自然の家八ヶ岳荘大規模改修工事」 No.78「板橋区ユニバーサルデザイン賞の検討・実施」 No.79「アーバンデザインセンター高島平の設立・運営」 No.83「施設整備に係るプロジェクトマネジメント」 計9事業を追加
42 頁	「MOTENASHI」が読みづらい。	固有名詞であるため変更はしない。柱脚を入れることで対応
46 頁 50 頁	要援護者や要支援者という呼び方があるので、統一したほうが良い。	法改正により「要配慮者」に変更
60 頁	ユニバーサルデザインは面的に整備すべき。	【図表12 移動のしやすさと美しい空間を考慮した施設整備のイメージ】を追加
60 頁	特定の目的を持った道具であっても、見た目がよくなれば一般的に普及することがある。そのような考え方を掲載した方がよい。	60 頁コラムに同内容を追加
61 頁	ユニバーサルデザインを推進するためには、「スパイラルアップ」が大切だ。	スパイラルアップの説明と図を追加
70～ 77 頁	-	条例、規則及び要綱の改正に伴い、名称及び内容を変更

頁数	バリアフリー推進協議会 (10/7)以降における主な意見	主な修正内容
全体	-	条例等の改正に伴い、必要なものについてはユニバーサルデザインに文言を変更
概要版	-	従前の A3 概要版の説明を手厚くするとともに、SP コードの記載場所を追加

その他軽微な文言修正